

寺報

傘かえで

No. 13

発行 遍照山慈光寺  
 久慈市大川目町22  
 TEL 55-2660  
 編集 田表永七

法 話 色は匂えど散りぬるを

灌仏会(釈迦生誕祭)にはお参りを

旧暦の四月八日は、灌仏会かんぶつえです。灌仏会とは、お釈迦さまの降誕祭のことです。お釈迦さまの誕生日は、今年は五月一四日です。慈光寺では、それを祝って花まつりを行います。

この花まつりの行事は、今さかのぼる二千五百年余の昔、インドにお生まれになったお釈迦さまに由来していることはもちろんのことです。伝記によりますと、お釈迦さまは、母親の右脇下からお生まれるになったとされています。その時に、天から諸神が天の下って、お釈迦さまのおからだを受け止め、空から降り注いだきれいな水で洗い清められました。すると、お釈迦さまは、すくくと大地

に立たれて、四方を見渡し、その上で北方に七歩歩き、右手を上、左手を下にして「天上天下、唯我独尊」と宣言されたといわれます。これが、今日、花まつりの時のお釈迦さまのお姿なのです。

忍辱の徳(にんにくのこ)

仏教では、花には忍辱じんじやく(人から辱めを受けても堪え忍ぶ)の徳があると考えられています。仏さまは、どんな時でも、どんなことでも堪え忍び、私たちが間違に気づくまで、花の心・忍辱の心でお導き下さるのです。

また、どんな美しい花でも、やがて散りゆく定めをもってあります。仏さまは、花の華やかさに、この世の無常を教

えられているのです。

「色は匂えど散りぬるを わが世誰ぞ常無らむ」 人の世の無常がみごとに詠いあげられています。

人間は、頼りにしてはならないものに執着しがちです。そこに、迷いや苦しみの元があるのです。

五月一四日には、慈光寺では、早朝から花御堂を飾って誕生仏を安置し、みなさまの参詣をお待ちしております。ちようどその頃の慈光寺は、境内に草花が咲き乱れて春たけなわです。春の一日、花をいそしみながら、又仏の教えに耳を傾けてほしいものです。

(副住取 高谷勉行)

摂待家の墓 (一字一石塔)

摂待家の墓は、位牌堂わきの斜面に広がる墓地の最上段にひっそりと在る。摂待家は、久慈城最後の城主久慈直治の弟治光を初代とし、代々、久慈家の墓を守った。先祖の供養のために、円形の石一個に一字を刻み地中に埋める「一字一石塔」として貴重な史跡である。



一遍上人の伝記

NHK教育テレビで放送

時宗の開祖、一遍上人の生涯と成道の過程を記録した「一遍聖絵」(全十二巻)は、鎌倉時代後期の民衆の生きる姿を今に伝える絵巻物として国宝に指定されています。

このほど、NHKでは、この「一遍聖絵」を元に、一遍上人の生涯をドキュメンタリーとして放送します。ぜひごらん下さい。

放送日程は次の通りです。

4月21(月)、22(火)、23(水)(3日連続放送) 10時~10時40分

# 御詠歌の会軌道に乗る

## 第2、第4日曜の午後、月2回練習

御詠歌を習いたい、御詠歌を唱えたいと言ふ声は、ずっと以前からありました。が、なかなか実現しませんでした。

しかしこのほど関係者の努力が実って、数年来の夢であった、慈光寺御詠歌の会が誕生しました。

会員は、現在18名で、大川目町を中心に、小久慈、宇部、八日町、枝成沢など広範囲地域から参加しています。

代表者は、**藤森サキ**さん(新町)で、今のところ、ほとんどが女性ですが、男性も少数ですが入会しています。

練習日は、月2回で、第2、第4日曜日の午後1時からです。練習場所は、慈光寺本堂を使います。

指導者には、**宇部フミ**さん(新井)をお願いして毎回出張していただいています。会費は、月額一、四〇〇円で、講師

謝礼その他にあてられます。

ほとんどの会員は、初心者ですから入門指導から始めていねいに教えていただいています。

一通りおぼえたら、年に一回ぐらいのペースで、よそのお寺の御詠歌の人たちとの交流もして見たいと夢はふくらんでいます。

御詠歌の会では、会員が増えることを望んでいます。

入会ご希望の方は、その旨、慈光寺までお電話ください。年令、性別は問いません。

# お釈迦さま生誕祭

5月14日(旧暦4月8日)

慈光寺境内で挙行

旧暦4月8日は、お釈迦さまの誕生日です。こゝしは、5月14日がその日に当たります。

慈光寺では、毎年旧暦4月8日にお釈迦さまの生誕祭を備えています。

生誕祭は、本堂前に花綱堂を飾り、その中にお釈迦さまの像を安置します。

お参りする人々は、用意されてある甘茶をお釈迦さまの像にかけて拝みます。

お釈迦さまにかけた甘茶を飲むと、ご利益があると言われており、甘茶をいしそつに飲む人々も多く見かけられます。

# 寄進ご披露

本堂本尊、阿彌陀如来像  
脇侍、観音菩薩像  
脇侍、勢至菩薩像  
3体の木製  
台座一式

岩花 幸 信(横浜)

# アンテナ

大悟教師は、去る四月一日付で、本山遊行寺の、中老として勤めておられます。

# 写経の会(仮称)結成準備会発足

## 仏教の心に触れ自らの精神修養を

経文を写し通すことを通して、奥深い仏教の心に触れたい。そして、自らの精神をも鍛えたい——というのが、この会の趣旨。

準備会の顔ぶれを見ると、いずれも40代後半のバリバリの働き手たち。

五人の結成準備会の代表世話人である**小田憲二**さんは、「日ごろ毛筆を手にす



【写真】彼岸法要で御詠歌を唱える会員たち

# 会員募集

入会希望者は、慈光寺までお電話ください。詳細はその時、お尋ねください。55-2660